

令和6年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団体名	公益財団法人千葉県文化振興財団
施設名	千葉県文化会館
内定額	21,765 (千円)

1. 基礎データ

(1) 開館日数・事業本数・貸館日数

項 目		令和5年度	令和6年度
開館日数			
年間事業本数（※1）	主催事業	34	32
	公演事業	14	15
	（内、本助成対象事業本数）	7	13
	人材養成事業	7	7
	（内、本助成対象事業本数）	6	3
	普及啓発事業	13	10
	（内、本助成対象事業本数）	11	10
	その他 内容： 記入してください		
貸館日数	ホールごとの貸館日数	0	0
	ホール名：大ホール 座席数：1,790 記入してください	0	0
	ホール名：小ホール 座席数：252 記入してください	0	0
	ホール名：記入してください 座席数：記入してください		
	ホール名：記入してください 座席数：記入してください		
	ホール名：記入してください 座席数：記入してください		

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

(2) 施設利用者数・利用率

項 目		令和5年度	令和6年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	0	0
	公演事業	0	0
	人材養成事業	0	0
	普及啓発事業	0	0
	その他 内容： 記入してください	0	0
	貸館事業入場者・参加者数	0	0
	その他 内容： 記入してください	0	0
	計	0	0
施設の利用率(%)		0.0%	0.0%

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設(美術館、図書館等)のみへの入場者数は除きます。

(3) 公演事業データ

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	入場者・参加者率	事業本数内訳						
						演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※4）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	26	30	18,000	75.0%	5	14	1	2	0	2	2
	共催・提携公演（※2）	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0
	貸館公演（※3）	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0
	計	26	30	18,000								
令和6年度	主催公演（※1）	26	30	18,000	75.0%	5	13	2	2	0	2	2
	共催・提携公演（※2）	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0
	貸館公演（※3）	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0
	計	26	30	18,000								

※1 名義主催は除きます。

※2 名義共催を含みます。

※3 「貸館公演」における「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は概算で構いません。

※4 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

※令和5年度～令和6年度は改修工事のため、休館

2. 公演事業の実績記録と自己評価

(1) 各公演事業における 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)

・ 令和6年度助成対象事業のうち公演事業について、助成対象事業ごとに自己評価を記入してください。

事業 番号	事業名	入場者数		入場者 率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	備考
公-01	千葉県少年少女オーケストラ第29回定期演奏会	目標 値	950	100.0%	来場者満足度	90%以上	100%	一流の音楽家による指導で細部にわたり一音一音を大切に した音楽となり、演奏中は団員の集中力の高まりが見られ た。 来場者アンケートでも高い評価をいただくことができた。		
		実績 値	917	96.5%						
公-02	千葉県少年少女オーケストラ サントリーホール公演	目標 値	1,100	61.1%	千葉県以外の来場者の割合	15%以上	38.20%	レイ・チェン氏のファンも全国各地から来場したため、初めて 千葉県少年少女オーケストラの演奏を聴いていただける機会 となったと同時に、ソリスト目当ての人達の多くを感動させる 演奏を行うことができた。		
		実績 値	1,905	95.3%	来場者満足度	90%以上	98.30%			
公-03	「4館連携」山田和樹&藤田真央 & モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団	目標 値	900	78.3%	来場者満足度	90%以上	100%	都内公演よりも入場料を廉価に設定するなどし、県内外から 多くの来場者を迎えることができた。 また地域での質の高い芸術鑑賞の機会の提供により、劇場 のPRにも繋げることができた。		
		実績 値	1,005	83.4%						
公-04	「4館連携」川口千里リーダークラウドwithエリック・ミヤシロ	目標 値	700	79.1%	29歳以下の来場率	15%以上	21.20%	千葉市・旭市および館山市で事前に開催した「ドラムクリニック」により、若者の関心を高めるとともに本公演のPRに繋げることができた。 普段都内でしか見られない一流ミュージシャンによる地元公演への歓迎の声が多かった。		
		実績 値	505	57.0%	来場者満足度	90%以上	99.60%			
公-05	「4館連携」劇団四季ファミリーミュージカル「ガンバの大冒険」	目標 値	600	70.6%	29歳以下の来場率	10%以上	16.20%	子どもや若者の来場率を目標よりも6割ほど多く達成することができた。 地元で劇団四季の公演を家族で見られることへの喜びの声が多く聞かれ、鑑賞機会の地域差の解消に寄与することができた。		
		実績 値	711	82.3%	来場者満足度	90%以上	100%			
公-06	「4館連携」ダンス・シリーズ ちばでおどれば！	目標 値	60	100.0%	来場者満足度	90%以上	100%	参加型のダンス公演という企画について「とても楽しかった」という声が多く聞かれ、また地元の映像を取り入れた演出も高評価であった。 舞台上に客席を設け、演者たちと同じ目線に立つことで、劇場への親近感を高めることもできた。		
		実績 値	60	100.0%	子どもの来場率	15%以上	25%			
公-07	「4館連携」声優による朗読劇「南総里見八犬伝」	目標 値	850	73.9%	来場者満足度	90%以上	100%	県外からの来場者も15%以上おり、観光をはじめとする地域の活性化と劇場の知名度向上を図ることができた。また満足度は100%となり、若者の割合も目標を上回ったものの、全体の入場率としては目標値の半分を下回った。		
		実績 値	310	27.0%	29歳以下の来場率	10%以上	29.60%			
公-08	「4館連携」柿喰う客「世阿弥のキス」	目標 値	300	35.3%	29歳以下の来場率	10%以上	67.60%	若者の割合が目標を大きく上回るとともに満足度も100%となり、普段伝統芸能に触れる機会の少ない層へのアピールに繋がった。 外部アドバイザーからも高評価を得ることができた。		
		実績 値	225	38.6%	外部アドバイザーの	外部アドバイザーより高評価を得る	高評価を得た			
公-09	「4館連携」本条秀慈郎三味線演奏会「青葉の如く絹の音曲」	目標 値	250	28.5%	来場者満足度	90%以上	95.10%	来場者からは95%を越える高い満足度を得た。革新的な内容で、三味線の新しい可能性に感動した観客も多かった。 外部アドバイザーからも高評価を得ることができた。		
		実績 値	163	28.7%	外部アドバイザーの	外部アドバイザーより高評価を得る	高評価を得た			
公-10	「オールちば(市町村協働)」イーヴォ・ポゴレリチピアノリサイタル	目標 値	800	69.6%	来場者の住居地	県内8市町村以上の来場	県内13市町村以上の来場	県内の多くの市町村をはじめ、県外からも来場者を得ることができた。 満足度は100%となり、有名な在外アーティストの演奏会を地域で開催することで、鑑賞機会の格差解消にもつながった。		
		実績 値	470	40.8%	来場者満足度	90%以上	100%			

事業 番号	事業名	入場者数		入場者 率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	備考
公-11	「オールちば(市町村協働)」小曽根真 ピアノ・ライブコンサート	目標値	500	75.0%	来場者の住居地	県内8市町村以上の来場	県内19市町村以上の来場	来場者の在住市町村が大変多く、県内でも多くの方面から来場可能な立地条件であることが確認された。満足度は100%となり、劇場の規模や終演後のサイン会などアーティストとの距離が近く感じられる大変に良い演奏会となった。		
		実績値	645	96.7%	来場者満足度	満足度90%以上	100%			
公-12	「オールちば(市町村協働)」タンゴオリジン2024	目標値	700	60.9%	来場者の住居地	県内5市町村以上の来場	県内22市町村以上の来場	平日の日中開催ではあったが、60代～70代の高齢者層がボリュームゾーンとなり多くの近隣市町村からの来場があった。レベルの高い演奏とダンスにより、満足度も99%以上を得ることができた。		
		実績値	410	35.6%	来場者満足度	満足度90%以上	99.10%			
		目標値								
		実績値								
		目標値								
		実績値								
		目標値								
		実績値								
		目標値								
		実績値								
		目標値								
		実績値								
		目標値								
		実績値								
		目標値								
		実績値								
		目標値								
		実績値								

3. 自己評価

評価項目①:創造性・企画性

評価の観点
・(企画力)地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・(制作力)優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・(発信力・影響力)圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・(レジデントカンパニー・アーティスト)当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- ・ 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら、事業類型ごとに自己評価を記入してください。

	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
公演事業	・満足度(アンケートによる) ・「千葉県少年少女オーケストラ」への評価(外部アドバイザー、専門家を含むモニターへの聞き取り)	・来場者満足度平均90%以上 ・外部アドバイザー、専門家より概ね高評価を得る	・全事業で90%以上となった ・外部アドバイザー、専門家より概ね高評価を得た	昨年度に引き続き、千葉県文化会館の改修工事期間となったことから、令和7年度は県内における鑑賞機会の地域格差の解消を重要な取組みの1つと捉えて事業展開を行った。 地方の小劇場では通常は招聘の難しい企画の実施や、県中央部以外の地域ではなかなか見ることの出来ない有名アーティストによる事業を県内各所で開催し、来場者の満足度は全般的に高いものとなり、また外部アドバイザーおよび専門家より、概ね高評価を得ることができた。 しかしながら一部の事業については収支の面において、同事業を千葉県文化会館で実施した場合の期待度と比較すると、少し物足りない結果になったことは否めない。		
人材養成事業	・「千葉県少年少女オーケストラ」入団希望者の増 ・「若い芽のαコンサート」出演者の継続した支援 ・「千葉演劇プロジェクト」参加者の反応	・入団希望者35名以上 ・「若い芽のαコンサート」過去出演者の企画2つ以上 ・演劇プロジェクト参加者全員が満足と回答	・団員選考会 受験者 18名 ・「若い芽のαコンサート」過去出演者を県内企業・団体の主催事業へ紹介(2件) ・演劇プロジェクト参加者全員が満足と回答した	・令和5年度募集での入団希望数が「32名」だったことから目標を「35名」としたが、令和6年度の希望数は「18名」であった。それ以前の希望数は10名～25名あたりで推移していることから、32名の希望者数はイレギュラーであったと言える。目標設定としては「20名」程度が妥当と考える。 ・千葉県にゆかりのある若いアーティストに出演機会を提供する「アーティスト・ソムリエ事業」を通じ、県内の企業・団体からの照会に対して2名のアーティストを照会することができ、目標を達成した。 ・内容としてはとても実りあるもので、演出・脚本・キャストそれぞれの立場の中で学びがあり、今後の活動の糧になったという評価であった。		
普及啓発事業	・満足度(アンケートによる) ・全事業の参加者数 ・子ども、若者の参加率	・参加者満足度平均90%以上 ・総参加者数 名以上 ・子ども、若者の参加率平均10%以上	・全事業で90%以上となった ・総参加者数 5,996名(目標設定数・・・設定漏れ) ・子ども、若者の参加率平均 19.0%(子どもの参加率100%の事業を除く)	設定目標は(設定漏れを除き)達成することができた。 継続して実施している子ども向けのアウトリーチ事業については、内容のブラッシュアップを図りながら安定したクオリティで実施ができており、また受け入れ側からの評価・満足度も高い状態を維持している。 ちば文化資産や観光地におけるアウトリーチ事業については、新規で協働を行った企業・団体からも「機会があれば次回もぜひ」という声を聞くことができている。		

(2) 「創造性・企画性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・「おやこdeオペラ」ではここ数年、県内企業とのコラボレーションを行っており、多くの企業と協力的な関係を築けている。食文化や製造文化など多岐にわたる千葉県の特色を生かした事業の制作は、他の事業においても有効に作用しつつあると感じている。 ・「川口千里」に関して・・・千葉県にこれまで縁があまりなかったアーティストのブッキングを実現できたことで、「ゼロからの発案による創造性の向上」「人脈の構築を含めた企画性の向上」を実感している。
--

評価項目②:国際性(任意)

評価の観点
・(国際プレゼンスの向上)海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流)アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組)在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
・観客の反応(アンケート、モニタリングによる) ・外国人の関心(アンケート、モニタリングによる)	・来場者満足度90%以上 ・「また観たい」等、高評価を得る	・満足度90%以上となった。 ・「また観たいので案内が欲しい」など好意的な感想を得た。	・在外アーティストの出演した公演においては、全て目標を達成することができた。 ・在日外国人コミュニティの調査とアプローチにより、一定数の外国人来場者を得ることができた。 「日本の文化に興味を持ち、日本に来ている」という大前提を考えれば、鑑賞機会の提供は重要と考えるが、現状は招待を行うことが多く、チケットの『購入』に関してはまだまだハードルを感じている。		

(2) 「国際性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

千葉県少年少女オーケストラの東京公演には、ゲストヴァイオリニストのレイ・チェン氏が出演。レイ・チェン氏の演奏を目当てに海外からも来場があり、千葉県少年少女オーケストラの活動を海外に発信する機会となった。 また、助成金の申請には間に合わなかったが ●国交100周年を迎えたトルコ共和国に着目し、「学び」と「体験」のワークショップ ・企画した職員が自らファシリテーターとなり、専門家と一緒に解りやすいトルコの基本情報を学んだ後、民間企業の協力を得て、トルコの経済と観光の中心であるイスタンブールと会場を生中継でつなぎ、トルコの魅力を紹介 ・伝統的なトルコタイル制作の技法を学ぶワークショップ ●日韓国交正常化60周年を迎え、世界的に注目の高い「韓国」を取り上げ、K-POPのコピーダンスを中心に韓国のさまざまな文化を紹介するイベント の2つの国際イベントを実施。 それぞれの国の文化を学び、国際性の向上に繋げることができた。

評価項目③:地域文化拠点機能

評価の観点
・(文化拠点)地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携)地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供)次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。 ・ホール利用サービス(貸館事業)の向上 ※ ・自由設定の観点(任意)
※ ホール利用サービス(貸館事業)を行っていない場合は不要

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評定	所見	対応・追加情報など
・連携団体(市町村)からの評価(インタビューによる) ・子どもの参加率(0歳から入場可能な公演)	・「また連携したい」等、高評価を得る ・子どもの参加率平均10%以上	・「また連携したい」等の高評価を得た。 ・子どもの参加率 平均 15.3%	・連携先からは概ね「また連携したい」との高評価を得ることができ、目標を達成した。 今後もさまざまな形での連携を実施できるよう情報収集を行いたい。 ・子どもの参加率の平均は目標を達成しているが、伝統芸能公演など、平均を下回っているジャンルの子どもの来場者数の底上げを図る工夫を行う必要がある。		

(2) 「地域文化拠点機能」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

- 千葉県文化会館の改修工事に伴う、県内各地における事業の実施と計画を通じて、「千葉県の中心館として期待されていることと地域の課題」に多く触れることができた。

評価項目④:多様性とアクセシビリティ

評価の観点
・(プログラムの多様さ)プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ)アーティストやスタッフとして参画する人々の属性(性別、年代、居住地、他)が多様である。 ・(アクセシビリティ)障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
・若年層の来場者数(U-30チケット販売数) ・アウトリーチ事業実施数 ・音声コード付きチラシの作成	・U-30チケット販売数前年度比10%増 ・アウトリーチ公演 30公演以上 ・音声コードチラシを対象事業に100%取り入れる	・前年度比 403%増 ・アウトリーチ公演 35公演実施 ・音声コードチラシ作成 9/10 事業	・助成対象外の事業を含めての集計になるが、前年度比で400%以上のU-30チケットの販売を行うことができた。若者層にアピールできる公演を充実できたと言える。 ・30公演以上の実施を行うことができ目標を達成した。 ・想定よりも情報量が増加し、QRコードの多用が必要になった事業において、レイアウトの視認性を優先せざるを得なくなった事業があった。		

(2) 「多様性とアクセシビリティ」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・演劇リーディング公演「星降る学び舎」は、夜間中学をモデルにした話となっており、実際、夜間中学に勤務する先生なども来場して下さった。演劇制作を通じ、夜間中学に通う様々な事情を抱える生徒たちに、財団の活動を紹介し、今後の文化活動への参画を促す足がかりとなりつつある。
--

評価項目⑤: 自由設定(任意)

①創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性 の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。

評価の観点

- (1) 令和6年度の自己評価
- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

評価項目⑥:運営体制と持続可能性

評価の観点		現状	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
「実現性」の評価項目より							
(ア)	(多様な財源の確保)予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。						
(イ)	(広報・営業力)広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。						
(ウ)	(他館連携)他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。						
(エ)	(設置者)円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。						
「持続可能性に関するチェックシート」より							
(オ)	(芸術監督)芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。						
(カ)	(長期的経営)長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。						
(キ)	(専門人材の確保)今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。						
(ク)	(職制の整理)芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。						
(ケ)	(世代間バランス)年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。						
(コ)	(ジェンダーバランス)女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。						
(サ)	(ワークライフ・バランス)仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。						
(シ)	(コンプライアンス順守)情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。						
(ス)	(ハラスメント防止対策)職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。						
(セ)	(適正な契約事務)アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。						

4. 総評

・ 団体の自己評価

千葉県文化会館の改修工事に伴う出張公演の機会も多かったが、さまざまな市町村の会館職員の方々と知り合うことができ、また地域の事情・実情に触れることができた。いずれの館も好意的であり、また、来年度以降の連携についても歓迎の方針を得ることができた。千葉県を代表する劇場として、地域の会館に対し今後も中心的な役割を果たしていく、ということについて、少なからず自信と自負を得ることのできた改修工事期間中であつたと言える。

ほとんどの設定項目について、当初の目標を達成することができた。しかしながら収入目標に届かなかった事業もあり、来場者の満足度と県民の需要は必ずしも一致していない。直面する少子化や若者の需要の変化、中年層の消費行動の変化、コロナ禍を経た高齢者の動静など、あらゆる需要層に課題が生じている。それらを見極め、事業の企画立案に反映させていく必要があると改めて感じている。

多種多様な需要に応えながら、収支を改善することはなかなか難しいが、収入を確保する事業とは別に、助成金の意義も踏まえつつ、無料もしくは代金に応じた付加価値を付けた事業などで、来場者の興味をさらに高められるようなメリハリのある事業計画を考えていきたい。

・ 所見

